

「サイエンスカフェ in 静岡」第29話
「がんの早期発見・早期治療を目指す医用材料の開発」

by 山下 光司

- ご来店者数 93名（男性：40名 女性：50名 不明：3）
- アンケート回収数 52件
- 初めての来店者数 15名 複数回の来店者数 78名
- 職業別参加者人数
会社員：20 公務員：3 教員：6 自営業：7 主婦：9
その他：11 中学生：18 高校生：10 不明：9
- 年齢別参加者人数
10代：30 20代：3 30代：7 40代：9 50代：16
60代：14 70代：5 不明：9
- 住所別参加者人数
葵区：29 駿河区：35 清水区：11 焼津市：3 藤枝市：6
島田市：1 吉田町：1 袋井市：1 富士市：3 不明：3

▼ アンケートによせられたご意見・ご感想

- 今日の話は特に難しかったです。途中から全くついて行けなかったです。でも、興味深いお話でした。（複数回答）
- 白血病やがんなど、基本的なところからよく分からなかったのですが、今日の講演で本当に何となくですが知ることができてよかったです。抗がん剤の話が興味深かったです。（複数回答）
- かなり難しく、わかりにくいところが結構ありました。でも、やっぱりガンは早期発見が一番だということがよくわかりました。
- 医療について知らないことばかりだったので、大変勉強になりました。
- 専門用語が多くわかりにくい部分があった。もう少しレベルを下げた欲しい気がしました。字が小さくて見にくかった。もう少し字が大きいと助かります。
- いろいろな細胞の死とそれに対する抗がん剤のかかわり方がいろいろあるということ、とても興味深く聞かせていただきました。ありがとうございました。有限の寿命をもつ生物は死を免れない。高齢化社会では死因にガンが高いことは仕方のないことと思う。ただ、死の間際までQOLの高い、苦痛のない生活ができたらいいと思う。先生の研究理想が現実されることを心よりお祈りしております。
- 久しぶりに専門的な話を聞けて、脳が活性化した感じがしました。

- 大学の授業みたいで難しかったです。知識のある方はわかっておもしろいかもしれないけれども、日常生活で組織レベルまで関わることはないのもう少し一般人にもわかるように噛み砕いて欲しかったです。
- がんになる前に聞いてよかったです。がん患者も参加するのが、楽しくなるようなシステムがあるといいと思うのですが、実際には利害の対立が難しそうです。
- 造影剤については初めて聞いた（学んだ）ので、参考になりました。抗がん剤については、リンからアプローチに対して楽しそうだと（実験比較ややりがい）感じます。参考資料についてですが、一般向けなのに英語表記なのはいかなものでしょう。
- 薬剤設計や勇氣合成のお話を伺うのは楽しいです。職人みたいですね。
- 難しくてよくわからなかったけれど、図がたくさんあって良かったです。（複数回答）
- まあまあ（ちょっと difficult）
- スライドと資料のページが合っていないと分かりにくい。
- 化学的な内容については全く分からなかったが、実際に使われている様子を教えていただき、重要な研究だとわかりました。早く実用化されるとよいと思います。
- 新しい造影剤や抗がん剤についてよく分かった。抗がん剤では、グレベックよりもすぐれたものが早くできて副作用で苦しむ人や手術を受ける人の人数が減っていくと良いと思います。
- たまに今回のような医療関係のお話があれば面白いと思います。もう少しpptの文字を大きくして頂けるとより見やすく助かります。それにしても、たくさんの資料を載せて下さりありがとうございました。
- 難しかったです。がんのもととは誰でも持っているということを知ったので、驚きました。
- 化学反応で得られたものが実用化するまでは、相当な苦勞と時間を要するのではと推定される。相当な数の生成物が得られているが、それぞれの効果を検討する為には医薬学とのコラボが必要であると思われるが、日本の体制はどうなのかと思われる。
- 造影剤、抗がん剤は薬学の分野かと思っていましたが、化学の延長線上で考えられているんだなぁと感じました。全てのガン細胞の性質が解明され、万能な抗がん剤が開発されることを期待します。
- リラックスして聞ける雰囲気なので、思っていたイメージと違い良かった。
- 興味深い内容でしたが、内容が詰め過ぎな感じでわかりにくい所が多くありました。半分くらいの内容をゆっくり説明して欲しかったです。
- スライドの内容が豊富で良かったです。素晴らしい研究をされていますね。静大でガンに関する研究をしているとは知りませんでした。

- 実際に医療分野の改善を目標に尽力している事が分かって嬉しかったが、あまり専門的すぎて内容についていけず苦労しました。考え方や取り組みの必要性（世界規模の）を感じられて良かったです。学び屋だけでは手を互いに取り合えない。etc 勉強になりました。
- 専門用語、化学式は難しく理解できませんでした。内容を絞って、素人にも理解できるように話して頂けるとありがたいです。
- 工学部と理学部との研究連携について初めて知りました。（考えてみれば当然ですが）講演全体を通して大いに啓発されました。最先端の研究を垣間みた感じ。
- がんを医者立場でなく、工学的面からの治療方法を考えていることを知りました。この方面からの治療も確かに必要なことだなと感じました。専門的な用語等が多く、内容的に理解しにくい部分がありました。
- 糖デンドリマー型MRI造影剤、GLDTPAに糖を導入する3つの理由のところは十分に理解しえなかった。燐糖抗癌剤：いろいろな化合物を使用され、有効なものが得られる事がよくわかりません。
- 医学にまだまだむずかしく大学らしい。
- MRI造影剤は開発前と後で、映り方が全然違うのに感動しました。

▼ これから聞きたい、興味のある分野「サイエンスカフェ in 静岡」全般に関してのご意見等

- 次回から会場が広くなるという事で嬉しいです。スタートが18:15ぐらいからになるともっと嬉しいです。
- 環境やエネルギー等の問題に関する事。スタートが18:15~18:30ぐらいになると良いです。
- 素粒子、量子論、超ひも理論に関心がある。農業に関する分野（最新の栽培法、培養法に関して）
- 脳科学（認知症の起こり、感情の変化について、眠りについて）アロマテラピーの効果はなぜ起こるのか。血液型の不思議について。薬はなぜ効くのか、飲み合わせの良し悪し、なぜさ湯で飲んだ方がいいのか。
- 南アルプスのシカ書の話がされたようですが、知らなかったので話を聞けず残念です。（本買いました）環境問題に興味があるので楽しみです。（でも科学だけでは解決できないと思います）
- 流行やお客さんを全く気にしないところがいいと思うので。今日は最後列だったので、読めない字が多かったです。できれば、コントラスト、彩度もわかりやすくして頂けるとありがたいです。
- ロボットの話。
- がん、生活習慣病、感染症、その他症例数のまれな病気についてに興味有り。

(医薬分野)

- 触媒／錯体利用。新素材／プラスチック、カーボン、ガラス。体内の情報伝達（神経細胞）薬剤設計法、有機合成。ウイルス変異（インフルエンザとか）臓器再生／万能細胞。物質同定法の理論（MS、NMR、X線構造解析とか）MRIの原理。
- 酸性雨
- 宇宙に関すること。ビックバンのこと。
- ウイルスとは・・・何ぞや。
- 農学の品種改良や病気の治療について。地球温暖化の実際の影響について。暗号について。これからの時代の経済学について。
- 飛行機の話。
- 前回みたいに実験がやりたいです。
- 静岡の古代史について聞きたいです。
- 衣食住に関する身近なテーマが良いと思う。
- 心理学（理系に入るのかな・・・）コミュニケーション分野、人間のエネルギー地球、自然エネルギー（宇宙移住計画に繋がっているのかな・・・）
- 参加者も増し、それに対応したスペースの確保を期待。
- 人体の構造のしくみは興味が有ります。
- 「金」Gold。最小単位だと動く・・・生物とは何か？生命体とは何か？ 体内での酵素・ホルモン・電気のメカニズム、合成の方法。
- 食物栄養学。森林学。
- がんに関係しますが「悪性繊維性組織球腫」についての話が聞きたいです。
- 自然系博物館がないのは静岡県だけだそうです、一般の人々はそうした意識を持っていないのでは！
- 細胞・分子生物学。
- がんについては非常に興味があるので、今度はがんの医用材料についてではなく、がんそのものについてのお話を詳しく伺いたいです。

最後に、会場設備の改善などに関する希望がありました。